講義科目	: 栄養教育論 (70期生)	単位数	: 2
	: 栄養教育論 I (69・68期生)	学習形態	: 必修科目
担当	: 阿部 稚里		栄養士免許必修科目

講義の内容・方法および到達目標

栄養教育とは、対象とする個人や集団のQuality of Life (QOL) を高めるために、教育手段を用いて好ましい食行動の実践と習慣化を促すために具体的に働きかけることである

そこで、本講義では、食生活の問題点や環境を正しく理解し、健康やQOLの向上につながる主体的な実践力形成の支援に必要な栄養教育の理論と方法を学び、実践につながる知識を得ることを到達目標とする。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション、栄養教育の概念
 - 第2回 栄養教育・栄養指導の歴史、栄養教育の対象と機会
 - 第3回 栄養教育の目的・目標、最近の栄養教育に関する法的根拠
 - 第4回 健康づくり対策と栄養教育方法1 (国民健康・栄養調査など)
 - 第5回 健康づくり対策と栄養教育方法2 (健康日本21など)
 - 第6回 行動科学理論の概要
 - 第7回 行動科学理論とモデル1 (刺激-反応理論等)
 - 第8回 行動科学理論とモデル2 (プリシード・プロシードモデル等)
 - 第9回 栄養カウンセリング・コーチング
 - 第10回 行動科学理論の栄養教育への応用
 - 第11回 栄養教育マネジメントの概要
 - 第12回 栄養アセスメントの種類とその特徴
 - 第13回 栄養教育の目標設定、栄養教育計画作成の基本的な手順
 - 第14回 学習形態の種類とその特徴
 - 第15回 栄養教育の実施・評価方法
- ・定期試験期間中に筆記試験を行う。

教材・テキスト・参考文献等

- ・教科書「栄養教育論—栄養の指導—」 関口紀子、蕨迫栄美子編 学建書院
- ・参考文献は随時授業中に紹介する。

成績評価方法

- ・評価割合は、平常点15%、筆記試験85%である。
- ・毎回出席を取り、5回を超える欠席をした場合は、評価対象外となる。
- ・平常点は講義中に提示した課題の解答内容に応じて評価する。

その他

- ・栄養士の職務と教科内容の関わりを意識しながら学んでください。